

大切な家を“残念な工事”にするのはイヤ!
絶対に失敗したくない方へ

確かな工事を約束する
トリプルあんしん保証

家も建てる技術中心の会社が提供する

外壁塗装



大臣顕彰も受けた
国土交通省認定 **専門家の診断**
塗るだけでなく、建物の状態と本当に必要な工事を見極めます。



創業から150年
老舗塗装店の責任施工
長年培った技術と経験で、見えない工程まで丁寧に仕上げます。



国内最大手 東証プライム上場(旧東証一部)
メーカーとのW共同保証
メーカー保証にも対応し、工事後の安心を高めます。

「工事を売る会社」ばかり見ていませんか?

当社は、「**技術を売る会社**」です。営業マンはいません。創業以来150年あまり。**県内随一の老舗塗装店**として、確かな技術と高い品質を求められ続けてきました。だからこそ、メーカーから責任施工を直接依頼されるような、難易度の高い工事にも対応しています。

塗装だけではなく、**資格と知識を持ち**、防水、板金、各種修繕まで、内容を理解し、必要に応じて施工図も作成しながら、現場を管理します。**下請け任せにせず**、工事の中身まで見える会社として、**品質の高い工事をご提供**しています。

ご相談・通常のお見積りに伴う診断は無料です。

お気軽にお声かけください。

改定後の新価格です

精密診断のご案内 (¥33,000~) **おすすめ**

家の本当の状態をきちんと知りたい方、営業トークに流されたくない方のために、当社では「精密診断(有料)」もご案内しています。精密診断では、どのような工事が必要なのかだけでなく、しなくてよい工事や避けるべき工事まで分かりやすくご説明します。また、詳細見積では、各部の数量だけでなく、必要な工事項目、塗装仕様、塗り回数まで明細化し、診断書にしてお渡します。「なぜその工事が必要なのか」が分かるため、必要な工事を正しく見極め、失敗しにくい工事につながります。なお、精密診断後に工事をご依頼いただいた場合は、診断費用をお値引きいたします。(一般戸建で3万3千円からご案内しております。)



雨漏り直します! 建築会社も依頼する専門店

原因が分からない雨漏りでお困りではありませんか? 当社は、大工さんや屋根屋さん、防水業者さんからも雨漏り調査の依頼をいただきます。難しい雨漏りに数多く対応してきた経験がありますので、一度ご相談ください。

外壁 屋根 無機塗装 

GRANCERA SERIES **日本ペイントの最上級ブランド塗料使用**

メーカーとのW保証付き

屋根も壁も全部塗ってこの価格

128.7万円
141.5万円(税込)

工事に含まれるもの
外壁3回塗り+屋根3回塗り
足場+高圧洗浄+養生
軒天、樋、破風板塗装
メーカーとのW保証付き

得 外壁塗装

メーカーとのW保証

ラジカル シリコン
79.7万円
87.6万円(税込) 期待耐久 15年程度

メーカーとのW保証

ハイブリッド 無機
87万円
95.7万円(税込) 期待耐久 20年以上

メーカーとのW保証

サイディング UVクリアー
73.9万円
81.2万円(税込) 期待耐久 14年程度

外壁3回塗り(ハイグレード下塗り使用)
足場+洗浄+養生+軒天、雨樋、破風
※目安:30坪の住宅

フッ素
86.9万円
95.6万円(税込) 期待耐久 20年程度

最上級無機
109.1万円
120万円(税込) 期待耐久 20年以上

ジョリパット
塗り替え
74.8万円
82.3万円(税込) 期待耐久 14年程度

屋根塗装

ハイグレード下塗り+上塗り2回
高圧洗浄+釘、ビス補修 保証も付いて

遮熱ラジカルシリコン
27.8万円
30.6万円(税込) ※80mの場合

遮熱無機
34万円
期待耐久15年

メーカーとのW保証

※屋根塗装での注意※
ハイグレード下塗りは、安価な下塗材を2回塗るよりもはるかに良い結果を得られます。無意味な下塗2回塗りは「百害あって一利なし」です。

あなたが岡部に工事を頼むと**体験する、6のメリット**だから**賢い人は岡部に頼む!**

01 建物全体を診てもらう

普通の塗装専門店ではむずかしい、防水・雨仕舞い・屋根・構造までをしっかりと診て、必要な修繕方法までご提案いたします。



02 営業トークなし! 技術ベースの提案

技術を元にした必要な工事と建物に見合った提案をいたします。工事を売る会社とは違い、不安をあまり、不要な工事をさせることはありません。



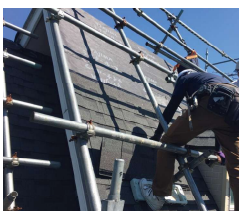
03 塗装以外の不具合も原因から直す

不具合を塗装で誤魔化しても長持ちしません。工務店として新築工事も請負う会社だから分かる、そして出来るレベルの高い修繕を提供しています。



04 老舗の経験を活かした対応

工事をこなすだけでなく、確実に積み重ねてきた経験で、起きていない不具合だけでなく、起こりうる問題にも対処ができます。



05 本当に工事が長持ちする

差が出るのは数年後です。見積には表れない本当に大事な工程を重視した工事は次の塗り替えまであんしんです。定期点検という名の営業もありません。



06 実際に機能する保証と安心

空手形の長期保証は意味がありません。当社では、実際に有効な保証を提供し、保証期間終了後も相談を受け、あんしんもご提供しています。



「チラシを見た」とお電話ください!

TEL027-231-3333

contact@grandtech.jp

〒371-0031 前橋市下小出町2-16-4

建設業許可 群馬県知事(般8)第858号

明治10年(頃)創業 明治34年 屋号制定

岡部塗装店

(有限会社グランテック)

『3回塗り』だけで安心していませんか?

塗装で本当に大切なのは、“良い塗膜を作る技術”です

塗装は、ただ回数を重ねれば安心できるものではありません。

下地処理、塗り方、乾燥時間、均一で十分な膜厚 これらがそろって初めて、家を守る塗膜になります。

1 仕上がった直後は良い工事か分からない

- 手間をかけた工事と手を抜いた工事は仕上がった直後には違いが分かりづらい
- 数年後にエラー、早期の劣化などで差が見えてくる
- 塗り回数だけでなく“どう塗るか”を見ることが大切

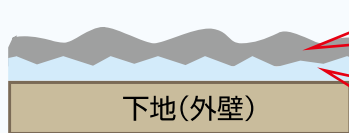


2 同じ3回塗りでも、結果はこんなに違う!

悪い例

- 薄く擦って塗る
- 膜厚が不足
- 乾燥時間が不十分
- 下地処理が甘い

見た目は同じでも、塗膜は違う!
回数ではなく「技術」で差が出る

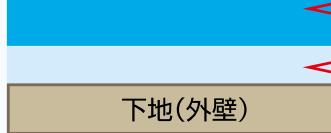


下地が隠れるだけで薄い

薄く、抜けやムラがある

良い例

- 適切な量が均一に塗られている
- 必要な膜厚が確保されている
- 適切な乾燥時間がとられている
- 下地処理が丁寧で確実



均一な塗膜が形成されている

十分な厚さがある

写真だけでは分からない! 「どう塗ったのか」が塗装の品質を決めます!

3 私が見た! 他社の失敗例

塗り替え前の診断で発見した他社の工事ミスを一部ご紹介します。どれも「工事写真」や「口コミの多さ」をアピールしている塗装専門店が行った工事です。

塗ってはいけない場所

建物には、将来のメンテナンスや不具合防止のため、塗ってはいけない部分があります。あるお宅では、その箇所まで全て塗りつぶされていました。理由と修復には多額の費用が掛かることを説明すると、ご主人は大変驚かれていました。しかも、その住宅は施工会社のホームページで施工例として紹介されていたそうです。プロなら「塗ってはいけない場所」の知識も必要です。

3回塗りでも薄い塗膜

約10年前に他社で塗装されたALC造住宅は、3回塗りであったのに塗膜が明らかに薄く、細かなひび割れも多数ありました。塗装は「3回塗ればよい」ではありません。ローラーで薄く擦るように塗れば施工は早く終わりますが、必要な膜厚は得られません。適正な塗布量と均一な厚みを確保するには、技術と時間が必要です。3回塗っても、必要な膜厚がなければ意味がありません。

原因を直さない保証補修

海外製の「よく伸びる」とされた塗料で他社が施工したお宅では、完工後まもなく外壁が膨れ、施工会社の保証で、きれいとは言えない状態に補修されていました。最近ではホームページやカタログで、性能を誇張している塗料もあります。それらの宣伝文句だけを鵜呑みにせず、塗料の性質や施工条件まで確認することが大切です。保証は「直したか」ではなく「原因を直したか」が重要です。

契約と違う塗料を使う

他社で施工した塗装が剥がれてきたので診て欲しいと依頼がありました。施工に問題があり、加えてフッ素樹脂塗料で契約したのに、施工写真にはシリコン樹脂塗料と記載された缶が写っていました。契約違反は重大な問題です。工事中や完成後の見た目だけでなく、使用材料の確認も重要です。塗料の性能だけでなく、契約した内容を誠実に守る会社かどうか、業者選びの重要なポイントです。

4 なぜ? こんな問題が多発しているのか?

建設工事で不具合を完全にゼロにすることは難しいものですが、私が建物を診断する中で、このような問題施工を目にすることがあります。一般の方には気づきづらいですが...

1 職人の知識・技術・経験が足りない

塗装業界では十分な修業を積まないまま独立するケースもあります。仕事を続けているだけでは、正しい知識や技術が身につくとは限りません。しかし、技量を確かめず、そのような職人に施工を任せている会社も少なくありません。

2 適正な施工を妨げる「低予算」

工事の契約金額が安くなくても、広告や職人以外の人件費に多くの費用が取られ、実際の施工に使われる予算が少なければ、必要な人数、作業時間、材料費を確保できません。その結果、下地処理の省略や塗布量不足などに繋がります。

3 「どの会社にも頼んでも同じ」という誤解

同じ塗料を使い、同じ3回塗りでも、できあがる塗膜の品質は会社によって違います。建物診断、下地処理、材料選定、塗布量、乾燥時間、職人の技術によって、塗膜の耐久性には大きな差が生まれます。完成直後は同じようにきれいでも、本当の違いが表れるのは数年後です。

価格だけ比べても
工事品質は
分かりません!



相見積で比べるべきは
「価格」ではなく
「どんな仕事をする見積なのか」
を比べましょう!!

安くても施工技術が違えば、
工事品質は同じではありません。

5 良い塗装をつくる4つの条件

塗り回数だけでなく
大切なのはこの4つ GOOD JOB

適切な
下地作り

必要な
塗布量

十分な
乾燥時間

確かな
施工技術

4つの条件がそろって、はじめて長持ちする塗装になる

そのころ日本では、富岡製糸場をはじめ近代的な工場が造られ、西洋式の建物も増えていた。鉄道が伸び、駅舎や橋、車両など新しいものが姿を現すと、そこには漆とは違う西洋式の「塗装」が必要になる。平吉は古い家や道具には漆を、新しい建物には横濱で覚えた洋式塗料を使った。古い技を捨てず、新しい技を重ねていった。

明治十七年には鉄道が前橋まで伸び、町の景色はさらに変わった。汽笛を響かせて列車が走り、生糸や人が横濱方面へ運ばれる。平吉の仕事も、時代とともに塗りから洋式塗装へと比重を移していった。

そして明治三十四年、20世紀が始まった年。平吉は屋号を「岡部塗装店」と定めた。三國峠を越え、横濱で異国の技術を学びはじめたから約三十年。新潟へ戻れず辿り着いた前橋は、いつしか平吉の故郷となった。横濱で追求めた「新しい塗り」は、近代化する日本の建物を守る仕事へと変わっていた。(続く)

横濱に来てから数年後、平吉も弟も嫁を迎え、それぞれに家族ができた。男だけなら越えられた三國峠も、妻や幼い子どもを連れてとなれば話は違う。当時はまだ汽車もなく、新潟へ戻るには、海路を使う長旅か、険しい三國峠を越えるしかなかった。女子供を連れて峠を越えることは現実には難しく、それが前橋へ移り住んだ理由だったと言われている。

前橋は、当時「糸の町」として急激に栄えはじめていた。前橋の生糸は横濱港から海外へ輸出され、両地の間には盛んな人と物の行き来があった。生糸を横濱へ送り、横濱からは新しい品物や情報が入ってくる。前橋は三國峠を越えずに暮らせるだけでなく、平吉が修業した横濱とも深くつながる町だった。

明治十年ごろ、平吉は前橋で仕事を始めた。生糸で大きな富を築いた商人も多く、製糸場や倉庫、商家が造られ、町には新しいものを受け入れる活気があった。新潟へ戻れずに選んだ前橋だったが、横濱で身につけた洋式塗装を生かすには、格好の土地でもあった。

岡部塗装店物語 第三話

